

## 共同研究

# 養護教育におけるコンピュータ活用 に関する研究（第1年次）

## —コンピュータ活用の視点と方法—

### 一、はじめに

教育に携わるすべての教職員にとって、情報化社会という今日の時代的背景から、情報機器に無関心でいられなくなっています。養護教育の分野においても、児童生徒の障害の多様化、重度・重複化に対応するコンピュータ活用の研究が進み、全国的には、これらコンピュータを用いて学習効果を挙げた研究報告がなされています。これは、コンピュータの持つ特性が、視覚障害や言語障害、聴覚障害、上肢障害等に伴う様々な学習上の制約を補償、代償する上で大きな力となり得る可能性を示しているものです。

しかし、現状では、養護教育においてコンピュータを有效地に活用するため、解決すべき様々な課題があります。そこで、当センターでは、「養護教育におけるコンピュータ活用に関する研究」という研究主題で平成三年度より三年間の共同研究をスタートしました。

### 二、研究の構想及び研究計画

本研究は、三つの視点（表1）から研究計

表1 研究の構想（3つの視点）

- (1) 県内の盲・聾・養護学校、及び特殊学級設置小・中学校におけるコンピュータの設置状況や活用の実態調査を行い、現状と今後の課題を探る。
- (2) 養護教育の分野におけるコンピュータ活用の基本的なねらいと利点を明確にする。
- (3) 各障害に即した養護教育におけるコンピュータ活用の実際について研究を進める。

### 三、初年度の研究内容

（1）コンピュータ活用の視点と方法

初年度は、コンピュータ活用に関する文献研究及び実態調査と、所員のコンピュータ実技研修を行いましたが、ここでは、紙面の都合上、「県内の養護教育におけるコンピュータ活用の実態調査」の概要について報告します。

### 四、初年度の研究概要

今回のアンケート調査結果から、本県においては、学校として養護教育独自のコンピュータ活用については、ほとんどなされていない状態であり、個人的にみても、コンピュ

表2 研究計画（3ヵ年）

サブテーマ		コンピュータ活用の視点と方法
第1年次		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ活用に関する文献研究及び情報収集</li> <li>・県内の養護教育におけるコンピュータ活用の実態調査</li> <li>・所員のコンピュータ実技研修</li> <li>・第1年次研究まとめと次年度研究課題の検討</li> </ul>
サブテーマ		コンピュータ活用の実際(その1)
第2年次		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児教育におけるコンピュータ活用の試行と実際</li> <li>・所員のコンピュータ実技研修</li> <li>・研修講座への試行的採用</li> <li>・第2年次研究のまとめと次年度研究課題の検討</li> </ul>
サブテーマ		コンピュータ活用の実際(その2)
第3年次		<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教育におけるコンピュータのCAIとしての試み</li> <li>・生涯教育、交流教育に生かすコンピュータ活用</li> <li>・研修講座に「コンピュータ活用の実践」の採用</li> <li>・研究のまとめ</li> </ul>